

普及現地情報

発信年月日：令和2年(2020年)11月12日
所属名：湖東農産普及課
番号：F20014
部門分類：340(鳥獣害)
発信者名：木村

多賀町八重練集落で集落環境点検を実施

多賀町で100頭規模のサル群である八重練群の個体数調整事業に伴い、各集落での更なるサル対策が求められています。今回はその中でも被害の深刻であった八重練集落において、住民参加のもと放置果樹や農地管理などサルの誘引要因の確認とサルの侵入経路について集落環境点検を行いました。

点検に先立って当課より趣旨説明を行い、今年になって八重練群は分裂しており、2群が入れ替わりで集落を加害していることを伝え、被害の確認だけではなく集落の弱点を見つけていく事を目標に点検を行いました。

住民の話からシカ・イノシシの侵入はおおむね止められているが、この3年ほどでサルの被害が増えてきていることがわかりました。誘引要因としては栗26本、柿だけでも21本を確認され、いずれも収穫皆無となっていました。またひこばえに靫の付いている田も複数確認できました。また点検中にハグレザル1頭を確認し、投石などでは追い払えないことも確認できました。

このように現地を確認することで、容易に手に入るエサがサルを集落に執着させている要因となっていることと、サルが悪質化して集落に依存しているとの認識を集落住民と共有できました。

当課では今後も被害集落に働きかけ、獣害被害を減らすために集落の取り組めるサル対策について支援を続けていきます。



集落内の放置果樹の状況を確認